



子ども議会を通して

子ども議員の皆さんにアンケートをとりました。



(2) 子ども議員になって感じたことは

- ・大まかな流れが分かり、楽しかった
- ・発言がこんなに緊張するとは思わなかった
- ・議員は大変だと思った
- ・自分の意見を言って今後の活動に活かせると思うと、発言するのも楽しかった
- ・自分の意見も通って楽しかった
- ・サポート議員が良くしてくれたので良かった

(1) なぜ子ども議員になろうと思ったのか

- ・議員という仕事があるなら、今のうちに経験しておけば将来役に立つと思ったから
- ・面白そうだったから
- ・子ども議会を体験してみたかった
- ・生徒会長になりたいと思って応募した
- ・いつか役立つと思ったから



(3) どんな議員になりたいですか

- ・市民のことを大切に考えて判断できる議員になりたい
- ・発言力のある議員になりたい
- ・しっかりした議員になりたい
- ・みんなのことを考えて意見が言える議員になりたい
- ・教科書に残る議員になりたい

(4) 多久市が将来

どんな街になって欲しいですか

- ・活気あふれる街
- ・県外から興味を持ってもらえる街
- ・ごみがなく、訪れた人が嬉しい気持ちになる街
- ・豊かで明るい街
- ・人がたくさんいる街
- ・子育て支援や学生割引など、若者にやさしい街

Wow...!!



議員からの感想

- ・多久に住んでもらいたい、多久にもっと来てほしいといった意見が多く聞かれました。多久の人口が減り続けることに対する子どもたちの危機意識のあらわれだと思います。
- ・次の子ども議会では、まちづくりに関わるといったような議案で、子どもたちに多久のことに向き合ってもらってもいいのではないのでしょうか。

challenge!!

議員に挑戦！子ども議会！



多久市内の義務教育学校6年生が議員役を務め「子ども議会」を1月28日に多久市議会議事堂で開催しました。架空の条例案を巡って真剣な討論が行われました。6人の子ども議員の皆さん全員が自分の意見を堂々と主張されました。



議案甲第一号

SAGA2024国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会において多久市内全児童のボランティアスタッフとしての参加を推進する条例

提案理由

弓道競技とスポーツクライミング競技が多久市内で行われるため、多久市がもっと賑やかで元気あふれる市になるよう、多久市内全児童を対象に、大会開催時にボランティアスタッフとして活躍できる人になるために、この条例を制定する。

違反してボランティアスタッフとして参加しない場合。

- (1) 1週間オンラインゲームの利用を禁止すること
- (2) 漢字の書き取りを30日間毎日5ページすること
- (3) 社会奉仕活動を義務付ける。

賛成討論

- ・多くの人と関わることができ、楽しくボランティアができる。参加賞もあるから。
- ・ボランティアは大切なこと。参加賞も検討することだから。

採決

今回提案された議案は採決により、賛成3、反対3で同数のため議長採決により否決されました。

反対討論

- ・ボランティアは自主的に参加するもの。不参加の場合、罰則もあるから。
- ・全員参加なのでトラブルなどが起き、来場者に悪い印象を与えることもあるから。
- ・全員参加のため、ボランティア活動に対するプレッシャーがあり、そのケアがない。また、特典目当てで参加する人がでる。